

Cisco Unified Intelligence Center(CUIC)からの廃止データソースの削除

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

概要

このドキュメントでは、データソースに関連付けられているレポートオブジェクトを削除し、データソースをCisco Unified Intelligence Center(CUIC)で削除する手順について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Unified Intelligence Center(CUIC)ユーザインターフェイス
- CUICコマンドラインインターフェイス(CLI)

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

問題

終了したシステムのデータソースは、他のレポートオブジェクトによって参照されている場合、CUICから削除できません。

解決方法

データソースを削除する前に、データソースに関連付けられているすべてのレポートオブジェク

トを削除する必要があります。

CLIを介して実行されるこれらのクエリを使用して、データソースにリンクされているレポート定義、レポート、ダッシュボード、およびスケジュールを識別できます。

注： CUICのディザスタリカバリシステム(DRS)バックアップを取ることを確認します。

1. クエリを使用してデータソースを識別します。

```
run sql select id, name from cuic_data:cuicdatasource
```

データソース名を検索し、データソースIDをメモします

2. クエリを使用して、データソースに関連付けられているレポート定義IDを識別します (前のクエリのデータソースIDを置き換えます)。

```
run sql select id, name from cuic_data:cuicreportdefinition where datasourceid = '
```

レポート定義とレポート定義IDに注意してください

3. クエリを使用して、各レポート定義に関連付けられているレポートを識別します (前のクエリのレポート定義IDを置き換えます)。

```
run sql select id, parentcategoryid, name from cuic_data:cuicreport where reportdefinitionid = '
```

レポートとレポートIDを確認します

4. クエリを使用したレポートに関連付けられているダッシュボードのウィジェットを特定します (前のクエリのレポートIDを置き換えます)。

```
run sql select id, name, parentdashboardid from cuic_data:cuicdashboardwidget where url like '%
```

親ダッシュボードIDを確認します

5. ウィジェットがクエリに関連付けられている各ダッシュボードを識別します (前のクエリの親ダッシュボードIDを置き換えます)。

```
run sql select id, name from cuic_data:cuicdashboardwidget where id = '
```

CUIC GUIで、クエリで識別されたダッシュボードを削除するか、レポートのウィジェットをダッシュボードから削除して保存します

6. 各レポートに関連付けられているスケジュールをクエリで識別します (ステップ3の前のクエリのレポートIDを置き換えます)。

```
run sql select id, scheduledreportname from cuic_data:cuicscheduledreports where reported = '
```

CUIC GUIで、クエリで特定されたスケジュールを削除します

7. CUIC GUIで、手順3で特定したレポートと、手順2で特定したレポート定義を削除し、データソースを削除します